

注3

**大学番号：042**

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

**届出**

**国際医療福祉大学 成田看護学部**

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学  
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部

職名・氏名 フクシユニン 副主任 サトウ 佐藤 シュン 旬

電話番号 0476-20-7703

（夜間） 0476-20-7703

F A X 0476-20-7702

e-mail shunsato@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 成田看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	41

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

## (2) 大学名

国際医療福祉大学

## (3) 大学の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月)	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	任期満了に伴う変更(28)
学部長	(ヤマシタ カエコ) 山下 香枝子 (平成28年4月)		
学科長等	(ヤマシタ カエコ) 山下 香枝子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
成田看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	100人	- 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 ( - ) [ - ]								1.08倍	
志願者数	715 ( - ) [12]	- ( - ) [ - ]								
受験者数	705 ( - ) [11]	- ( - ) [ - ]								
合格者数	182 ( - ) [5]	- ( - ) [ - ]								
B 入学者数	108 ( - ) [4]	- ( - ) [ - ]								
入学定員超過率 B/A	1.08									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 4 ] ( - ) 108	[ - ] ( - ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ - ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ 4 ] ( - ) 108	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	108 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	108 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<成田看護学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総 間 系	文学論	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更(28)
	演劇論	1・2・3・4 前		1								兼1 就任辞退に伴い兼任秋原北胤に変更(28)
	パフォーマンス表現論	1・2・3・4 前	2									兼1 教育効果を考慮し、配当年次を変更(28)
	心理学	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任矢口大雄に変更(28)
	哲学	1・2・3・4 前		2		1						
	コミュニケーション概論	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任山川誠司に変更(28)
	人間学	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任鹿島晴雄に変更(28)
	文化人類学	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任加藤尚子に変更(28)
	宗教学	1・2・3・4 後		2								
	歴史学	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任町田明広に変更(28)
	倫理学	1・2・3・4 後		2		1						
	教育学	1・2・3・4 後		2								兼1
	死生学-死を通して生を考える-	1・2・3・4 前		2								兼1
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	未開講 1・2・3・4 前		2								兼1 履修希望者がいなかったため(28)
日本近現代史	1・2・3・4 後		2								兼1	
合 社 教 会 育 系	法学	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更(28)
	法と道徳・倫理	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任伊東達也に変更(28)
	医療関係法規	1・2・3・4 後	2									兼1
	社会保障制度論	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任金野充博に変更(28)
	経済の仕組み	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任埴岡健一に変更(28)
	経済の歴史	1・2・3・4 後		2								兼1 教育効果を考慮し、開講期を変更(28)
	世界の経済	1・2・3・4 前		2								兼1 教育効果を考慮し、開講期を変更(28)
	アジア諸国の経済・社会・文化	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更(28)
	世界の中の和 문화	1・2・3・4 前		1			1					兼6 専門性の深化を図り、各回の講義テーマに基づく専門化によるオムニバス化(28)
	世界遺産と国際文化政策	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任佐藤麻一に変更(28)
	経営の仕組み	1・2・3・4 前		2								兼1
	組織運営管理論	1・2・3・4 前		2								兼1 教育効果を考慮し兼任羽田明浩に変更(28)
	社会学(人間と社会)	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任川上和久に変更(28)
	マスメディア論	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任川上和久に変更(28)
新聞でみた日本と世界	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任川上和久に変更(28)	
科 目	国際関係論	1・2・3・4 前後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任高須賀茂文に変更、教育効果に配慮し開講学期を変更(28)
	国際医療福祉論	1・2・3・4 前		2								兼1
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	未開講 1・2・3・4 前	1									兼1 履修希望者がいなかったため(28)
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	未開講 1・2・3・4 前	1				2					兼5 履修希望者がいなかったため(28)
	ボランティア論	1・2・3・4 後		2								兼1
	ボランティアコーディネート論	未開講 1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任井上善行に変更(28) 履修希望者がいなかったため(28)
	手話入門	1・2・3・4 前		2								兼1
	防災と生活デザイン	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任梶秀樹に変更(28)
	統計学	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任稲垣誠一に変更(28)
	疫学・保健医療統計学	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任稲垣誠一に変更(28)
	物理学	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)
	化学	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任清宮正徳に変更(28)
	生物学	1・2・3・4 前		2								兼1
	情報処理Ⅰ(初歩)	1・2・3・4 前		1								兼1 就任辞退に伴い兼任稲垣誠一に変更(28)
情報処理Ⅱ(基礎)	1・2・3・4 前		1								兼1 就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)	
情報処理Ⅲ(応用)	1・2・3・4 後		1								兼1 就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)	
生命倫理	1・2・3・4 前		2								兼1 就任辞退に伴い兼任樽井正義に変更(28)	
医学/医療史	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)	
人間工学	1・2・3・4 後		2								兼1 就任辞退に伴い兼任宮嶋宏行に変更(28)	
総 合 系	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1 前	1			1						兼1
	大学入門講座Ⅱ(展開)	1・2・3・4 前		1			1					兼1
	郷土論	1・2・3・4 前		1								兼7 専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携しオムニバス化(28)
	医療福祉教養講義	1・2・3・4 後		1								兼1
	食と人間	1・2・3・4 後		1								兼1 就任辞退に伴い兼任門脇弘子に変更(28)
メディカルマナー入門	1・2・3・4 前後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教養科目	英語A-1(講読基礎)	1 前	1								兼1	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
	英語A-2(講読応用)	1 後	1								兼1	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
	英語A-3(講読中級1)	2・3・4 前	1								兼1	
	英語A-4(講読中級2)	2・3・4 後	1								兼1	
	英語B-1(視聴覚英語基礎)	1 前	1								兼1	教育効果を考慮し少人数教育を実践するため、担当教員を追加(28)
	英語B-2(視聴覚英語応用)	1 後	1								兼1	教育効果を考慮し少人数教育を実践するため、担当教員を追加(28)
	英語C-1(英会話初級)	2・3・4 前	1								兼1	
	英語C-2(英会話中級)	2・3・4 後	1								兼1	
	英語ライティング1(Primary)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任田中泰郎に変更(28)
	英語ライティング2(Basic)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任田中泰郎に変更(28)
	資格英語1(Primary)	1・2・3・4 前	1								兼1	
	資格英語2(Basic)	1・2・3・4 後	1								兼1	
	基礎英文法1(Primary)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
	基礎英文法2(Basic)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退および効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加変更(28)
	上級英語文献講読	1・2・3・4 前	1								兼1	効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加(28)
	上級英語会話1(発展)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任師岡ビアンルイズに変更(28)
	上級英語会話2(総合)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任師岡ビアンルイズに変更(28)
	国際医療通訳入門	1・2・3・4 前	1								兼1	
	ドイツ語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1								兼1	
	ドイツ語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1								兼1	
	中国語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更(28)
	中国語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任張佳恵に変更(28)
	韓国語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更(28)
	韓国語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任崔誠姫に変更(28)
	フランス語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1								兼1	
	フランス語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1								兼1	
	スペイン語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1			1					兼1	教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任Silvia Antoniaに変更(28)
	スペイン語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1			1					兼1	教育効果を考慮しネイティブスピーカーである兼任Silvia Antoniaに変更(28)
	タイ語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1								兼1	
	タイ語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1								兼1	
	ベトナム語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1								兼1	
	ベトナム語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1								兼1	
	ビルマ語入門(会話含む)	1・2・3・4 前	1								兼1	
ビルマ語応用(会話含む)	1・2・3・4 後	1								兼1		
系	日本語Ⅰ-A(作文)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅱ-A(作文)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅲ-A(作文)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	医療福祉専門漢字	1・2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	医療福祉専門語彙	1・2・3・4 後	1								兼1	就任辞退に伴い兼任茅野正雄、小川美香に変更(28)
	体育系	健康科学理論	1・2・3・4 前	1								兼1
健康科学実践		1・2・3・4 後	1								兼1	
専門基礎科目	公衆衛生学	1 2 前	2								兼1	就任辞退に伴い兼任小川俊夫に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	救急医学	1・2・3・4 前	1								兼1	
	感染と免疫	1・2・3・4 後	2								兼1	就任辞退に伴い兼任林琢磨に変更、教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	リハビリテーション概論	1・2・3・4 前	2								兼1	教育効果を考慮し、兼任杉原素子に変更(28)
	関連職種連携論	2 後	2			1					兼4	
	ケアマネジメント論	2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任井上善行に変更(28)
	ケースワーク論	2・3・4 前	1								兼1	就任辞退に伴い兼任井上善行に変更(28)
	医療管理学	未開講 1・2・3・4 前	2								兼1	履修希望者がいなかったため(28)
	保健医療福祉制度論	1・2・3・4 前後	2								兼1	教育効果を考慮し兼任金野充博に変更、開講期、配当年次を変更(28)
	社会福祉学	1・2・3・4 前	2								兼1	就任辞退に伴い兼任井上善行に変更(28)
	臨床心理学概論	1・2・3・4 前	2								兼1	就任辞退に伴い兼任山川誠司に変更(28)
	医療情報学概論	1・2・3・4 後	2								兼1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	福祉支援工学概論	1・2・3・4 前	2								兼1	就任辞退に伴い兼任中村美緒に変更(28)
	関連職種連携ワーク	3 前	1			1					兼4	
	関連職種連携実習	4 前	1			1					兼4	
	リスクマネジメント論	1・2・3・4 後	2								兼1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	電子カルテによるチーム医療概論	1・2・3・4 後	2								兼1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	1・2・3・4 前	1			1					兼1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)	
レクリエーション概論	1・2・3・4 前	1								兼1		
国際医療保健学	1・2・3・4 前後	1			1					兼1	教育効果を考慮し、配当年次、開講期を変更(28)	
異文化体験実習	1・2・3・4 後	1						1				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目 (学部設置科目)	読む技術・伝える技術	1 前	1									兼1	教育効果を考慮し配当年次を変更(28)  教育効果を考慮し配当年次を変更(28)  教育効果を考慮し、兼任林真理子を追加(28) 教育効果を考慮し、兼任大澤進他医学検査学教科員を追加(28)  教育効果を考慮し、配当年次を変更、就任辞退に伴い兼任門脇弘子に変更(28)  教育効果を考慮し配当年次を変更、担当教員を追加(28)
	プレゼンテーション技法	1 後	1									兼1	
	問題解決とアイデアイノベーション	1・2・3・4		1								兼1	
	行動科学とモチベーション	1・2・3・4		1								兼1	
	キャリアデザインⅠ(基礎)	1・2・3・4		1								兼1	
	キャリアデザインⅡ(発展)	3・4		1								兼1	
	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	1 前	2									兼1	
	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)	1 後	1									兼10	
	疾病・治療学Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)	2 後	1									兼1	
	疾病・治療学Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	3 前	1									兼1	
	疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患)	2 後	1									兼1	
	疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)	3 前	1									兼1	
	疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)	3 前	1									兼1	
	疾病・治療学Ⅵ(精神医療)	2 後	1									兼1	
	人間と栄養	2 前	1									兼1	
	薬の作用と機序	3 前	1									兼1	
遺伝と医療	1・2・3・4		1								兼1		
先端医療とヘルスケアテクノロジー	3・4		1								兼1		
人間発達学	1・2・3・4		2			2	2	3			兼1		
健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎)	1 後	1									兼1		
健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント)	2・3・4		1								兼1		
健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロデュース)	2・3・4		1								兼1		
専門科目 (基礎・先駆的看護開発学分野)	看護学概論	1 前	1			1							
	ベーシック・スキルⅠ(生活援助技術)	1 後	2			1							
	ベーシック・スキルⅡ(医療支援技術)	2 前	1			1							
	看護過程とフィジカルアセスメント	2 前	2			1							
	ベーシックケア実践Ⅰ(入門)	1 前	1					1	3				
	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)	2 後	2			1		2	4				
	看護の理論と歴史	1・2・3・4		1		1							
	看護と倫理	2 前	1			1							
	健康教育とヘルスカウンセリング	2・3・4		1				1					
	看護情報リテラシー	1 前	1									兼1	
	ヘルスケア・インフォーマティクス	2・3・4		1								兼1	
	看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学)	2 後	1				1						
	看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創造)	2・3・4		1			1						
	保健事業戦略とマネジメント	4 前	1				1						
	看護キャリア創造学Ⅰ(多様なキャリアを知る)	1 後	1			1							
	看護キャリア創造学Ⅱ(キャリアの創造と挑戦)	3・4		1		1							
専門科目 (ライフステージ発達看護学分野)	ライフステージ発達援助論Ⅰ(母性)	2 前	2			1							
	ライフステージ発達援助実践Ⅰ(母性)	2 後	2			1		2					
	性と生殖における健康と権利	2 前	1			1							
	グローバルヘルスと母子保健	2 後	1			1							
	ライフステージ発達援助論Ⅱ(小児)	2 前	1					1					
	ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児)	2 後	1				1	2					
	小児看護学Ⅰ(講義)	3 前	2					1					
	小児看護学Ⅱ(演習)	3 前	1					2					
	小児ケア実践	3 後	1					1	2				
	ライフステージ発達援助論Ⅲ(成人・老年)	2 後	2			2	1	1	1				
	ライフステージ発達援助論Ⅲ(成人)	2 前	1			1							
	急性期看護学Ⅰ(講義)	3 前	2				1						
	急性期看護学Ⅱ(演習)	3 前	1				2						
	急性期ケア実践	3 後	3				2		2				
	慢性期看護学Ⅰ(講義)	3 前	2			1							
	慢性期看護学Ⅱ(演習)	3 前	1			1	2						
	慢性期ケア実践	3 後	3			1	2						
	終末期看護学Ⅰ(講義)	3 前	1			1							
	終末期看護学Ⅱ(演習)	3 前	1			1							
	終末期ケア実践	3 後	2			1							
	ライフステージ発達援助論Ⅳ(老年)	2 前	1			1							
	老年看護学Ⅰ(講義)	3 前	2			1							
	老年看護学Ⅱ(演習)	3 前	1			1			1				
	老年ケア実践	3 後	3			1			1				
ジェロンテクノロジーの看護への応用	3・4		1								兼1		
精神看護学Ⅰ(講義)	3 前	2					1						
精神看護学Ⅱ(演習)	3 前	1					1						
リラクゼーションの理論と実際	2 前	1			1								
精神ケア実践	3 後	2					1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (グローバルコミュニケーション 分野)	国際看護学Ⅰ(異文化と看護)	2 前	1			1						
	国際看護学Ⅱ(活動の実際)	2・3・4 後		1			1					
	国際看護研修(途上国)	3・4 前		2		1	2		1			
	看護学 災害・感染	感染看護論	2 後	1			1					
	災害・健康危機管理論	2・4 前	1				1					教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	国際検疫看護論	2・3・4 後		1			1					
	まちづくり看護学	まちづくり看護論	2 前	2				1				
	公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健)	4 前		2				1				
	公衆衛生看護活動論Ⅱ(学校・産業保健)	2・4 前		1				1				教育効果を考慮し配当年次を変更(28)
	公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健)	4 前		4				1	1			
	公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健)	4 後		1				1				
	在宅・生活デザイン看護学	在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義)	2 前	2				1				
	在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習)	2 後	1					1	1			
	在宅看護実践	2 後	2						1			
	住環境とユニバーサルデザイン	2・3・4 後		1				1				
地域ケアと家庭医療	2 前	1									兼1	
ソーシャルインクルージョン	2・3・4 後		1								兼1	
統合分野	プロジェクトⅠa	2 前		1		7	6	6	5			
	プロジェクトⅠb	2 後		1		7	6	6	5			
	プロジェクトⅡa	3 前		1		7	6	6	5			
	プロジェクトⅡb	3 後		1		7	6	6	5			
	プロジェクトⅢ	4 前		1		7	6	6	5			
	看護統合実践	4 前	2			6	6	5	5			
	海外看護研修	4 前		2		2	4	1	3			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 77	科目 138	科目 0	科目 215	科目 77 [ 0 ]	科目 138 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 215 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※大学全体  成田キャンパス（医学部）校地を無償借用のため増加(28) 小田原保健医療学部と小田原市とで土地の等価交換を行い、18㎡減少(H28)			
	校舎敷地	262,852㎡ 194,962㎡	0㎡	0㎡	262,852㎡ 194,962㎡				
	運動場用地	88,807㎡ 83,147㎡	0㎡	0㎡	88,807㎡ 83,147㎡				
	小 計	351,659㎡ 283,796㎡	0㎡	0㎡	351,659㎡ 283,796㎡				
	そ の 他	372,772㎡ 372,790㎡	0㎡	0㎡	372,772㎡ 372,790㎡				
	合 計	724,431㎡ 656,559㎡	0㎡	0㎡	724,431㎡ 656,559㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	143,615㎡ (143,615㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	143,615㎡ (143,615㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	176室	60室	216室	18室 (補助職員 4人)	6室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			共同研究室を加算(H28)			
	成田看護学部 看護学科		20 19 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	成田看護学部	16,000 [2,240] 6,485 [49] (6,400 [896])	96 [29] 140 [0] (78 [23])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	784 234 (176)	2,000 2,936(1600)	20 282(16)		
	計	16,000 [2,240] 6,485 [49] (6,400 [896])	96 [29] 140 [0] (78 [23])	3,336 [2,205] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	784 234 (176)	2,000 2,936(1600)	20 282(16)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体					
	7,087.11㎡	1,613席	299,400冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	5,715.34㎡	弓道場	テニスコート						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	朱書修正金額は5学科 合計(H28)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	477 13,000千円	87,750 8,000千円	4,000千円	
	共同研究費等	2,000千円	4,000千円	設備購入費	153,900 156,000千円	900,000 31,200千円	4,500千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,550千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	国際医療福祉大学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
保健医療学部						1.18		
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.19	平成7年度	栃木県大田原市北 金丸2600番1
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.20	平成7年度	同上
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.20	平成7年度	同上
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	1.14	平成7年度	同上
視機能療法学科	4	40	-	160	学士 (視機能療法学)	1.19	平成14年度	同上
放射線・情報科学科	4	100	-	400	学士 (放射線・情報科学)	1.19	平成7年度	同上
医療福祉学部						1.08		
医療福祉・マネジメント 学科	4	160	-	640	学士 (医療福祉学) 学士 (医療マネジメント学)	1.09	平成9年度	同上
薬学部						1.08		
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.08	平成18年度	同上
小田原保健医療学部						1.18		
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.13	平成18年度	神奈川県小田原市 城山一丁目2番25号
理学療法学科	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.19	平成18年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.24	平成18年度	同上
福岡看護学部						1.21		
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.21	平成20年度	福岡市早良区 百道浜1-7-4
福岡保健医療学部						1.18		
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.18	平成17年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.19	平成17年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.16	平成19年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.19	平成25年度	同上
成田看護学部						1.08		
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	平成28年度	千葉県成田市 公津の杜4丁目3番
成田保健医療学部						1.08		
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.15	平成28年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.07	平成28年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.00	平成28年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成28年度	同上

医療福祉学研究科						1.31		
修士課程保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学) 修士 (看護学) 修士 (助産学) 修士 (言語聴覚学) 修士 (生殖補助医療学) 修士 (医療福祉教育・管理学) 修士 (臨床検査学)	1.59	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1
修士課程医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学) 修士 (診療情報管理学) 修士 (医療ビジネス経営学) 修士 (医療福祉管理学) 修士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 修士 (医療福祉ジャーナリズム学) 修士 (臨床心理学)	0.92	平成13年度	同上
修士課程臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	同上
博士課程保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学) 博士 (看護学) 博士 (助産学) 博士 (言語聴覚学) 博士 (生殖補助医療学) 博士 (臨床検査学) 博士 (医療福祉経営学) 博士 (医療福祉学) 博士 (診療情報管理学) 博士 (介護福祉・ケアマネジメント学) 博士 (臨床心理学) 博士 (医療福祉ジャーナリズム学)	1.38	平成13年度	同上
薬科学研究科						0.20		
修士課程生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	平成22年度	同上
薬学研究科						1.20		
博士課程医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.20	平成24年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A/C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。



- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<成田看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況					備考	
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	学部長 学科長 教授	ヤマシ カエコ 山下 香枝子 (71)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
				大学入門講座Ⅰ (基礎) ※						
				大学入門講座Ⅱ (展開) ※						
				ライフステージ発達援助論Ⅳ (老年)						
				老年看護学Ⅰ (講義)						
				老年看護学Ⅱ (演習)						
				老年ケア実践						
				プロジェクトⅠa (入門)						
				プロジェクトⅠb (基礎)						
				プロジェクトⅡa (応用)						
				プロジェクトⅡb (展開)						
				プロジェクトⅢ (発展)						
				看護統合実践						
専	教授	カシ マサシ 梅井 正義 (68)	平成28年4月	哲学						
				倫理学						
				看護と倫理						
				プロジェクトⅠa (入門)						
				プロジェクトⅠb (基礎)						
				プロジェクトⅡa (応用)						
				プロジェクトⅡb (展開)						
				プロジェクトⅢ (発展)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	チエミ 茶園 美香 (66)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習)						
				関連職種連携論						
				関連職種連携ワーク						
				関連職種連携実習						
				看護キャリア創造学Ⅰ (多様なキャリアを知る)						
				看護キャリア創造学Ⅱ (キャリアの創造と挑戦)						
				ライフステージと発達援助実践Ⅲ (成人・老年)						
				終末期看護学Ⅰ (講義)						
				終末期看護学Ⅱ (演習)						
				終末期ケア実践						
				リラクゼーションの理論と実際						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa (入門)						
				プロジェクトⅠb (基礎)						
				プロジェクトⅡa (応用)						
プロジェクトⅡb (展開)										
プロジェクトⅢ (発展)										
看護統合実践										
専	教授	チエミ 小川 正子 (64)	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	兼任	講師	Silvia Antonia	平成28年4月	スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)	専門性を考慮し、ネイティブスピーカーの非常勤教員に変更(28)
専	教授	チエミ 小川 正子 (64)	平成28年4月	国際医療保健学						
				グローバルヘルスと母子保健						
				国際看護学Ⅰ (異文化と看護)						
				国際看護研修 (途上国)						
				プロジェクトⅠa (入門)						
				プロジェクトⅠb (基礎)						
				プロジェクトⅡa (応用)						
				プロジェクトⅡb (展開)						
				プロジェクトⅢ (発展)						
				看護統合実践						

設置時の計画				変更状況					備考		
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名			
専	教授	ノムミ アキラ 野村 明美 (63)	平成28年4月	ベーシック・スキルⅠ (生活援助技術)							
				ベーシック・スキルⅡ (医療支援技術)							
				看護過程とフィジカルアセスメント							
				ベーシックケア実践Ⅰ (入門)							
				ベーシックケア実践Ⅱ (基礎)							
				看護の理論と歴史							
				海外看護研修							
				看護学概論							
				プロジェクトⅠa (入門)							
				プロジェクトⅠb (基礎)							
				プロジェクトⅡa (応用)							
				プロジェクトⅡb (展開)							
				プロジェクトⅢ (発展)							
				看護統合実践							
専	教授	シンドリ エコ 新藤 悦子 (62)	平成28年4月	エビデンスベースドプラクティス (研究と文献)							
				人間発達学							
				ライフステージと発達援助実践Ⅲ (成人・老年)							
				ライフステージ発達援助論Ⅲ (成人)							
				慢性期看護学Ⅰ (講義)							
				慢性期看護学Ⅱ (演習)							
				慢性期ケア実践							
				海外看護研修							
				プロジェクトⅠa (入門)							
				プロジェクトⅠb (基礎)							
				プロジェクトⅡa (応用)							
				プロジェクトⅡb (展開)							
				プロジェクトⅢ (発展)							
				看護統合実践							

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	木戸 久美子 (48)	平成28年4月	ライフステージ発達援助論Ⅰ(母性)						
				ライフステージ発達援助実践Ⅰ(母性)						
				性と生殖における健康と権利						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						
専	准教授	實吉 佐知子 (55)	平成28年4月	看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学)						
				看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創造)						
				保健事業戦略とマネジメント						
				国際看護研修(途上国)						
				感染看護論						
				災害・健康危機管理論						
				国際検査看護論						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						

設置時の計画					変更状況					備考		
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名			
専	准教授	モリヤマ マミ 森山 ますみ (52)	平成28年4月	世界中の和文文化								
				異文化体験実習								
				ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児)								
				小児ケア実践								
				国際看護学Ⅱ(活動の実際)								
				国際看護研修(途上国)								
				プロジェクトⅠa(入門)								
				プロジェクトⅠb(基礎)								
				プロジェクトⅡa(応用)								
				プロジェクトⅡb(展開)								
				プロジェクトⅢ(発展)								
				看護統合実践								
				専	准教授	ヤマウチ ヒロキ 山内 英樹 (50)	平成29年4月	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年)				
急性期看護学Ⅰ(講義)												
急性期看護学Ⅱ(演習)												
急性期ケア実践												
海外看護研修												
プロジェクトⅠa(入門)												
プロジェクトⅠb(基礎)												
プロジェクトⅡa(応用)												
プロジェクトⅡb(展開)												
プロジェクトⅢ(発展)												
看護統合実践												

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	ムラカミ ヒロキ 村田 洋章 (41)	平成29年4月	先端医療とヘルスケアテクノロジー						
				急性期看護学Ⅱ(演習)						
				急性期ケア実践						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						
専	准教授	クニミツ 久保 美紀 (48)	平成29年4月	慢性期看護学Ⅱ(演習)						
				慢性期ケア実践						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
								看護統合実践		
専	准教授	マハラ ユキ 大原 裕子 (46)	平成28年4月	慢性期看護学Ⅱ(演習)						
				慢性期ケア実践						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
								看護統合実践		

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	サトウ ミチ子 佐藤 美奈子 (58)	平成28年4月	ライフステージ発達援助実践Ⅰ(母性)						
				ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児)						
				小児看護学Ⅱ(演習)						
				小児ケア実践						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						
専	講師	ミヤモト ケイ 宮本 圭 (50)	平成28年4月	ライフステージ発達援助実践Ⅰ(母性)						
				ライフステージ発達援助論Ⅱ(小児)						
				ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児)						
				小児看護学Ⅰ(講義)						
				小児看護学Ⅱ(演習)						
				小児ケア実践						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
プロジェクトⅢ(発展)										
看護統合実践										



設置時の計画				変更状況					備考	
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	講師	77/ トシ 天野 敏江 (44)	平成28年4月	ベーシックケア実践Ⅰ(入門)						
				ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)						
				精神看護学Ⅰ(講義)						
				精神看護学Ⅱ(演習)						
				精神ケア実践						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						
専	講師	ヤスガ イミ 保田 江美 (38)	平成29年4月	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)						
				健康教育とヘルスカウンセリング						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
								看護統合実践		

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	ガサヲ アキ 成澤 明 (38)	平成28年4月	ライフステージと発達援助実践Ⅲ (成人・老年)						
				老年看護学Ⅱ (演習)						
				老年ケア実践						
				在宅・生活デザイン看護学Ⅰ (講義)						
				在宅・生活デザイン看護学Ⅱ (演習)						
				住環境とユニバーサルデザイン						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa (入門)						
				プロジェクトⅠb (基礎)						
				プロジェクトⅡa (応用)						
				プロジェクトⅡb (展開)						
				プロジェクトⅢ (発展)						
				看護統合実践						
専	講師	シミス シズカ 清水 信輔 (33)	平成28年4月	まちづくり看護論						
				公衆衛生看護活動論Ⅰ (行政保健)						
				公衆衛生看護活動論Ⅱ (学校・産業保健)						
				公衆衛生看護学実践Ⅰ (行政保健)						
				公衆衛生看護学実践Ⅱ (産業保健)						
				プロジェクトⅠa (入門)						
				プロジェクトⅠb (基礎)						
				プロジェクトⅡa (応用)						
				プロジェクトⅡb (展開)						
				プロジェクトⅢ (発展)						

設置時の計画				変更状況					備考	
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	助教	古山 陽一 (36)	平成28年4月	ベーシックケア実践Ⅰ(入門)						
				ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						
専	助教	二田水 彩 (33)	平成28年4月	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)						
				国際看護研修(途上国)						
				公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健)						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
プロジェクトⅢ(発展)										
看護統合実践										

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	アサヒ ショウコ 浅川 翔子 (31)	平成29年4月	急性期看護学Ⅱ(演習)						
				急性期ケア実践						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						
専	助教	トミキ アサコ 富田 亜沙子 (30)	平成28年4月	ベーシックケア実践Ⅰ(入門)						
				ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)						
				急性期看護学Ⅱ(演習)						
				急性期ケア実践						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
看護統合実践										

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	か/川村 崇郎 (30)	平成28年4月	ベーシックケア実践Ⅰ(入門)						
				ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)						
				ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年)						
				在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習)						
				在宅看護実践						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
				看護統合実践						
専	助教	い/石川 ミドリ 碧 <平成28年4月>	平成28年4月	ベーシックケア実践Ⅰ(入門)						
				慢性期看護学Ⅱ(演習)						
				慢性期ケア実践						
				海外看護研修						
				プロジェクトⅠa(入門)						
				プロジェクトⅠb(基礎)						
				プロジェクトⅡa(応用)						
				プロジェクトⅡb(展開)						
				プロジェクトⅢ(発展)						
								看護統合実践		
兼任	教授	い/岩崎 サトシ 聡 (55)	平成29年4月	疾病・治療Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)						
兼任	教授	か/川合 陽子 (67)	平成29年4月	疾病・治療Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患)						
				疾病・治療Ⅳ(終末期・緩和医療)						
兼任	教授	か/河野 トオ 寿夫 (68)	平成30年4月	疾病・治療Ⅴ(小児・性と生殖医療)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	<del>小堀 浩幸 (64)</del>	平成28年4月	からだの探求Ⅱ (生体のしくみと生体防御)	兼任	教授	大澤 進 (68)	平成28年4月	からだの探求Ⅱ (生体のしくみと生体防御)	専門性の深化を図り、医学検査学科教員によるオムニバスに変更 (28)
	教授				兼任	教授	長沢 光章 (58)	平成28年4月		
	教授				兼任	教授	林 琢磨 (51)	平成28年4月		
	教授				兼任	准教授	工藤 芳子 (53)	平成28年4月		
	教授				兼任	准教授	清宮 正徳 (52)	平成28年4月		
	教授				兼任	講師	池田 勝秀 (39)	平成28年4月		
	教授				兼任	講師	木村 明佐子 (40)	平成28年4月		
	教授				兼任	講師	山口 良考 (46)	平成28年4月		
	教授				兼任	助教	赤堀 ゆきこ (〇)	平成28年4月		
	教授				兼任	助教	河野 弥季 (32)	平成28年4月		
兼任	教授	<del>小堀 浩幸 (51)</del>	平成28年4月	薬の作用と機序						
兼任	教授	<del>佐藤 敦久 (55)</del>	平成29年4月	地域ケアと家庭医療						
兼任	教授	<del>三宅 亮也 (52)</del>	平成28年4月	からだの探求Ⅰ (からだの構造と機能)	兼任	講師	林 真理子 (47)	平成28年4月	からだの探求Ⅰ (からだの構造と機能)	専門性の深化を意図し、担当教員を追加 (28)
兼任	教授	<del>宮田 哲郎 (61)</del>	平成28年4月	救急医学 疾病・治療学Ⅱ (急性期・臓器別疾患)						
兼任	教授	<del>山本 澄子 (64)</del>	平成28年4月	人間工学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (46)	平成28年4月	人間工学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授		平成28年4月	福祉支援工学概論	兼任	講師	中村 美緒 (35)	平成28年4月	福祉支援工学概論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	<del>山本 澄子 (66)</del>	平成28年4月	ジェロントロジーの看護への応用						
兼任	准教授	<del>小山田 静枝 (49)</del>	平成28年4月	人間学	兼任	准教授	鹿島 晴雄 (70)	平成28年4月	人間学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	<del>小山田 静枝 (49)</del>	平成28年4月	疾病・治療学Ⅵ (精神医療)						

設置時の計画					変更状況					備 考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	鈴木 弘子 (51)	平成28年4月	人間と栄養 食と人間	兼任	教授	門脇 弘子 (68)	平成28年4月	人間と栄養 食と人間	平成28年3月、就任辞退に伴う教員の変更 (26)
兼任	講師	鈴木 純子 (46)	平成28年4月	遺伝と医療	兼任	講師	山口 良考 (46)	平成28年4月	遺伝と医療	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	講師	小森 亜紀子 (57)	平成29年4月	ソーシャルインクルージョン						
兼任	講師	竹橋 洋毅 (38)	平成28年4月	行動科学とモチベーション						
兼任	講師	谷 千春 (55)	平成28年4月	手話入門						
兼任	講師	谷口 諭 (30)	平成28年4月	問題解決とアイデアノベーション 健康社会デザインⅠ (コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインⅡ (コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインⅢ (コミュニティ・プロデュース) 看護情報リテラシー ヘルスケア・インフォマティクス						
兼任	講師	種菜 ひかる (48)	平成28年4月	プレゼンテーション技法						
兼任	講師	山田 ズーニー (54)	平成28年4月	読む技術・伝える技術						
兼任	講師	山本 正樹 (53)	平成28年4月	キャリアデザインⅠ (基礎) キャリアデザインⅡ (発展)						

5 教員組織の状況

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任兼任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	フナトシヨ 藤一俊彦 (63)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	兼任	教授	稲垣誠一 (60)	平成28年4月	統計学 疫学・保健医療統計学	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	教授	アノアサヒ 天野一隆弘 (72)	平成28年4月	医学/医療史	兼任	教授	黒澤和生 (58)	平成28年4月	医学/医療史	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	教授	オホノ スミ 大澤 進 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携実習 関連職種連携ワーク						
兼任	教授	オノチーケン 亀口 憲治 (68)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	兼任	助教	山川誠司 (52)	平成28年4月	コミュニケーション概論 臨床心理学概論	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	オノチーケン 亀口 憲治 (68)	平成28年4月	雑談と傾聴-話す力と聴く力-						
兼任	教授	カノ マコト 河野 真 (49)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)						
兼任	教授	キナシーシヨウ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の仕組み	兼任	教授	埴岡健一 (56)	平成28年4月	経済の仕組み	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	キナシーシヨウ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	兼任	教授	佐藤慎一 (74)	平成28年4月	世界遺産と国際文化政策	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	キナシーシヨウ 菊池 哲郎 (68)	平成28年4月	経済の歴史 世界の経済						
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)	平成28年4月	国際医療福祉論						
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)	平成28年4月	公衆衛生学	兼任	准教授	小川俊夫 (50)	平成28年4月	公衆衛生学	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	キタムラ ヨシヒロ 北村 義浩 (55)	平成28年4月	感染と免疫	兼任	教授	林琢磨 (51)	平成28年4月	感染と免疫	教育内容からより適切な教員へ変更(28)
兼任	教授	シロマ マサエ 城間 将江 (63)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習						
兼任	成田保健医療学部学部長 教授	スギハラ トコ 杉原 素子 (73)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 大学入門講座Ⅰ(基礎)※ 大学入門講座Ⅱ(展開)※ 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習						



設置時の計画					変更状況					備 考
専任兼任兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ニシダ ユウスケ 西田 裕介 (40)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅱ (実習) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 レクリエーション概論						
兼任	教授	リハラウチノ 乗松 祐佐 (41)	平成28年4月	リハビリテーション概論	兼任	教授	杉原素子 (72)	平成28年4月	リハビリテーション概論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	ネダノサトコ 堀田 聡子 (39)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	兼任	准教授	井上善行 (41)	平成28年4月	社会福祉学 ケアマネジメント論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	マキノサトシ 丸本 一成 (67)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界 マスメディア論	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	新聞でみた日本と世界 マスメディア論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	マキノサトシ 丸本 一成 (67)	平成28年4月	社会保障制度論	兼任	教授	金野充博 (59)	平成28年4月	社会保障制度論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	マキマ ヒロシ 丸山 仁司 (65)	平成28年4月	医療福祉教養講義						
兼任	教授	ミヤノミチ子 宮崎 路子 (59)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加 変更 (28)
			平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	
			平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	英語B-1 (視聴覚英語基礎)	
			平成28年4月	英語B-2 (視聴覚英語応用)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語B-2 (視聴覚英語応用)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加 変更 (28)
			平成28年4月	英語B-2 (視聴覚英語応用)	兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語B-2 (視聴覚英語応用)	
			平成28年4月	英語B-2 (視聴覚英語応用)	兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	英語B-2 (視聴覚英語応用)	
			平成28年4月	英語ライティング1 (Primary)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語ライティング1 (Primary)	
			平成28年4月	英語ライティング2 (Basic)	兼任			英語ライティング2 (Basic)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)	
兼任	教授	ミヤノミチ子 宮崎 路子 (59)	平成28年4月	上級英語会話1 (発展) 上級英語会話2 (総合)	兼任	講師	師岡ビビアンルイズ (59)	平成28年4月	上級英語会話1 (発展) 上級英語会話2 (総合)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	教授	イトウ マサキ 武藤 正樹 (67)	平成28年4月	組織運営管理論	兼任	准教授	羽田明浩 (53)	平成28年4月	組織運営管理論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
			平成28年4月	保健医療福祉制度論	兼任	准教授	金野充博 (59)	平成28年4月	保健医療福祉制度論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	教授	イトウ マサキ 武藤 正樹 (67)	平成28年4月	リスクマネジメント論						
兼任	教授	モイ マリコ 桃井 真理子 (68)	平成28年4月	海外保健福祉事情Ⅰ (講義)						
兼任	准教授	イノウエ ヨシキ 井上 善行 (41)	平成29年4月	ケースワーク論						
兼任	准教授	井上 善行 大石 剛史 (40)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	兼任	准教授	井上善行 (41)	平成28年4月	ボランティアコーディネート論	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	井上 善行 大石 剛史 (40)	平成28年4月	ボランティア論						
兼任	准教授	井上 善行 岡村 世里奈 (45)	平成28年4月	医療管理学	兼任	准教授	埴岡健一 (56)	平成28年4月	医療管理学	教育内容からより適切な教員に変更 (28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	丸尾 せけ 岡村 世里奈 (45)	平成28年4月	医療関係法規						
兼任	准教授	新井 純一郎 (46)	平成28年4月	健康科学理論	兼任	教授	西田裕介 (40)	平成28年4月	健康科学理論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	准教授	金子 純至 (61)	平成28年4月	人間と栄養 食と人間	兼任	教授	門脇弘子 (68)	平成28年4月	人間と栄養 食と人間	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	准教授	斎藤 恵一 (57)	平成28年4月	医療情報学概論 電子カルテによるチーム医療概論						
兼任	准教授	斎藤 智恵 (48)	平成28年4月	英語 A-1 (講読基礎)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語 A-1 (講読基礎)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
	准教授		平成28年4月	英語 A-1 (講読基礎)	兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語 A-1 (講読基礎)	
	准教授		平成28年4月	英語 A-1 (講読基礎)	兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	英語 A-1 (講読基礎)	
	准教授		平成28年4月	英語 A-2 (講読応用)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	英語 A-2 (講読応用)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
	准教授		平成28年4月	英語 A-2 (講読応用)	兼任	講師	佐藤寛子 (44)	平成28年4月	英語 A-2 (講読応用)	
	准教授		平成28年4月	英語 A-2 (講読応用)	兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	英語 A-2 (講読応用)	
	准教授		平成28年4月	基礎英文法 1 (Primary)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	基礎英文法 1 (Primary)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
	准教授		平成28年4月	基礎英文法 1 (Primary)	兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	基礎英文法 1 (Primary)	
	准教授		平成28年4月	基礎英文法 2 (Basic)	兼任	准教授	田中泰郎 (57)	平成28年4月	基礎英文法 2 (Basic)	就任辞退および効果的な教育のための 少人数教育実践のため、担当教員の追加変更 (28)
	准教授		平成28年4月	基礎英文法 2 (Basic)	兼任	講師	CosminFlorescu (35)	平成28年4月	基礎英文法 2 (Basic)	
兼任	准教授	斎藤 智恵 (48)	平成28年4月	英語 C-1 (英会話初級)						
兼任	准教授	斎藤 智恵 (48)	平成28年4月	英語 C-2 (英会話中級)						
兼任	准教授	陳 雲雲 (50)	平成28年4月	中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)	兼任	講師	張佳惠 (50)	平成28年4月	中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	准教授	福井 謙 (44)	平成28年4月	歴史学 韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)	兼任	講師	町田明広 (54)	平成28年4月	歴史学 韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)	教育内容からより適切な教員に変更 (28)
兼任	准教授	福井 謙 (44)	平成28年4月	日本近現代史						
兼任	講師	井原 総一郎 (38)	平成28年4月	化学	兼任	准教授	清宮正徳 (52)	平成28年4月	化学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	磯野 真穂 (39)	平成28年4月	文化人類学	兼任	准教授	加藤尚子 (52)	平成28年4月	文化人類学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	江田 晋也 (37)	平成28年4月	情報処理 I (初歩)	兼任	教授	稲垣誠一 (60)	平成28年4月	情報処理 I (初歩)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
			平成28年4月	情報処理 II (基礎) 情報処理 III (応用)	兼任	教授	宮嶋宏行 (46)	平成28年4月	情報処理 II (基礎) 情報処理 III (応用)	就任辞退に伴う教員の変更 (28)

設置時の計画					変更状況					備 考
専任兼任兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任兼任兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	村松 直利 (45)	平成28年4月	物理学	兼任	教授	宮崎宏行 (46)	平成28年4月	物理学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	助教	木村 亮子 (34)	平成28年4月	日本語 I -A(作文) 日本語 II -A(作文) 日本語 II -C(発表討論) 日本語 III -A(作文) 日本語 III -C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	兼任	講師	小川美香 (39)	平成28年4月	日本語 I -A(作文) 日本語 II -A(作文) 日本語 II -C(発表討論) 日本語 III -A(作文) 日本語 III -C(発表・討論) 医療福祉専門漢字	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	助教	榎井 留美 (29)	平成28年4月	日本語 I -B(文法・語彙) 日本語 II -B(文法・語彙) 日本語 II -D(専門日本語) 日本語 III -B(文法・語彙) 日本語 III -D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	兼任	准教授	茅野正義 (60)	平成28年4月	日本語 I -B(文法・語彙) 日本語 II -B(文法・語彙) 日本語 II -D(専門日本語) 日本語 III -B(文法・語彙) 日本語 III -D(専門日本語) 医療福祉専門語彙	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	佐藤 寛子 (44)	平成28年4月	上級英語文献講読 英語 A-3(講読中級1) 英語 A-4(講読中級2) 資格英語 1 (Primary) 資格英語 2 (Basic) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)	兼任	講師	Cosmin Florescu (35)	平成28年4月	上級英語文献講読	効果的な教育のための少人数教育実践のため、担当教員の追加 (28)
兼任	講師	寺田 佳孝 (33)	平成28年4月	教育学						
兼任	講師	宮森 隆行 (41)	平成28年4月	健康科学実践						
兼任	助教	大塚 尚 (36)	平成28年4月	心理学	兼任	講師	矢口大雄 (31)	平成28年4月	心理学	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	青木 清 (38)	平成28年4月	生命倫理	専任	教授	梅井正義 (68)	平成28年4月	生命倫理	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	海老原 邦雄 (62)	平成28年4月	防災と生活デザイン	兼任	講師	梶秀樹 (75)	平成28年4月	防災と生活デザイン	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	大野 敏明 (64)	平成28年4月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	兼任	教授	高須眞茂文 (57)	平成28年5月	アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論	就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	大場 建治 (64)	平成28年4月	文学	兼任	講師	秋原北風 (53)	平成28年4月	文学論	語種のため科目名修正、就任辞退に伴う教員の変更 (28)
兼任	講師	岡野 賢二 (49)	平成28年4月	ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	おのりみち 押小路 忠昭 (56)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	社会学(人間と社会)	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	あさひ 佐藤 里野 (35)	平成28年4月	演劇論	兼任	講師	秋原北胤 (53)	平成28年4月	演劇論	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	しみず エリ 清水 英里 (44)	平成28年4月	ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)						
兼任	講師	すいとう 正彦 (79)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	兼任	講師	伊東達也 (52)	平成28年4月	法学 法と道徳・倫理	就任辞退に伴う教員の変更(28)
兼任	講師	スニサー ウィッタヤパニヤノン Sunisa Wittayapanyanon (46)	平成28年4月	タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)						
兼任	講師	たかやま 昇 高山 昇 (52)	平成28年4月	パフォーマンス表現論						
兼任	講師	たに 千春 谷 千春 (55)	平成28年4月	手話入門						
兼任	講師	とき 正樹 時田 正樹 (64)	平成28年4月	郷土論	兼任	教授	川上和久 (58)	平成28年4月	郷土論	就任辞退に伴う教員の変更と、専門性の深化を図り、地方自治体および地域と連携する科目としてオムニバス化(28)
兼任	講師	トマツ キセイ 戸松 義晴 (62)	平成28年4月	死生学-死を通して生を考える- 宗教学						
兼任	講師	バウアーラース フランク ヴィルヘルム Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim (27)	平成28年4月	ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)						
兼任	講師	べつふ 美知子 別府 美知子 (55)	平成28年4月	メディカルマナー入門						
兼任	講師	ムラカミ 和孝 村口 和孝 (58)	平成28年4月	経営の仕組み						

(注)・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に

所属している場合は、(〇学部 △学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	6	6	5	24	7	4	6	6	23	8	7	7	7	29
(7)	(4)	(5)	(4)	(20)						[ 1 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 5 ]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上 記(B))の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数
65 歳	3 名	6 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してくだ

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (27年7月)	<p>・人間をライフステージや発達課題からとらえ、その上で人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察能力、判断能力を強化する「人間理解（こころからだ）系」科目群は、学部配置科目となっており、他学科の共通の内容となっているが、看護学の修得に非常に重要な科目群であると思われる。そのため、他学科と共通の内容とするのではなく、看護学の修得を前提とした適切な内容に改めることを検討すること。</p>	留意事項	<p>成田看護学部は単科の学部であり、学部設置科目＝看護学科だけの開設科目である。したがって左記指摘のように看護学部の専門基礎科目を他 学部学生が履修することはない。</p> <p>また、この科目は看護学部学生のための科目とし、看護学の視点で内容を構成をしている。</p> <p>さらに、入学する学生が上記について理解できるように学生便覧および履修の手引き、担当アドバイザーからの履修指導や教務委員会からのカリキュラム説明などを通して周知も徹底している。</p> <p>(28)</p>	
設 置 時  (27年7月)	<p>・養成する人材の「6つの能力」の⑥に「基礎的研究力を修得する」とあるが、教育課程には研究力を培う授業科目が見受けられない。そのため、研究力を培う授業科目を配置するか、プロジェクト科目の内容を研究力を培う内容に改めるなどの検討をすること。</p>	留意事項	<p>「基礎的研究力を修得する」ため、「エビデンス・ベーストプラクティス（研究と文献）」「読む技術・伝える技術」「行動科学とモチベーション」「問題解決とアイディアイノベーション」「プレゼンテーション技法」などの科学的思考、問題解決力、研究の基礎的な能力を高めるための科目を複数設けている。</p> <p>これらの科目は、それぞれ、アクティブラーニングを取り入れ、学生が思考しながら学ぶ方法を用いる。</p> <p>また、2年次から「プロジェクト」科目を設けて、テーマを決めて取り組むことにより、研究的基礎力を育成する計画である。(28)</p>	
設 置 時  (27年7月)	<p>・本学部の特徴として「国際性」を挙げているが、教育研究上の到達目標にそれらが反映されていないように思われる。そのため、グローバルな活動ができる看護専門職の育成にふさわしい教育内容であることが明確になるよう、授業科目や講義内容を追加することなどの検討をすること。(成田看護学部)</p>	留意事項	<p>本学部の特長の一つとしてグローバルに活躍する人材を育成することを挙げている。本学部の考えるグローバルとは、日本を含む、多様な国の人々を地球市民としてとらえ、一人ひとりのもっている文化や地域性、価値観を理解した上で必要な支援のできる能力を育成することである。そのために、異文化理解のためのカリキュラムと国際的な視野を養う実践的カリキュラムを用意している。</p> <p>科目として、「世界の中の和文化」、「新聞で見た日本と世界」、「海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ（講義・実習）」、「国際医療通訳入門」、「異文化体験実習」、「国際医療保健学」、「外国語（英・独・西・仏・中・韓・タイ・ビルマ・ベトナム）」の他、「国際看護学Ⅰ・Ⅱ」、「海外看護研修」、「国際看護研修」等の科目では、国際看護学分野の専任教員、実務家を中心となり、本学部の教員が連携して学習を支援していくものであり、特にJICAや国際協力機関などと連携して学ぶ、実践・体験型プログラムで学ぶように計画している点は、グローバルな活動ができる看護専門職の育成にふさわしい教育内容であるといえる。(28)</p>	



<p>設 置 時  (27年7月)</p>	<p>・保健師課程の選抜方法や人数制限等の詳細が不明確であることから、学生に対しては、選抜方法等を具体的に周知すること。(成田看護学部)</p>	<p>留意事項</p>	<p>学生便覧、履修の手引き等の中に保健師課程に関するページを設け、選抜方法、人数制限等について学生に周知徹底する。 また、履修オリエンテーションなどの際に時間を設け、左記指摘事項に関し遺漏のないよう周知する。</p>	
<p>設 置 時  (27年7月)</p>	<p>・遠隔地での実習施設が多いように見受けられることから、実習施設内での学習環境の整備が重要であると考えられる。そのため、実習施設内での学修環境の整備が十分な計画となっているか検討し、必要に応じて充実させること。(成田看護学部)</p>	<p>留意事項</p>	<p>成田看護学部の開設にあたっては、その目的の一つとして千葉県内の看護師の不足を補うことが成田看護学部の開設目的の一つとして挙げている。 この目的を達成するためにも、臨床実習は、原則、県内の近隣の医療施設等を中心に行う。 また実習や科目の特性においては、学生の同意のもと、県外にある本学の附属病院、関連病院で実習を行う。この場合、宿泊先や学修スペースなどに確保しており、学生に負担を強いことはない。(28)</p>	
<p>設 置 時  (27年7月)</p>	<p>・実習助手の採用基準と決定方法、実習助手に対するFDIに関する記載がないため、これらが計画されていないのであれば、具体的な計画を定めること。(成田看護学部)</p>	<p>留意事項</p>	<p>実習助手の採用基準は、看護師免許を有し、大学を卒業後、3年以上当該専門領域の臨床経験を有する者とする。また専門学校および短期大学卒業で優れた臨床実践能力をもつ者については、5年以上臨床経験を有する場合に限り、実習助手として採用する。またリプロダクティブヘルス看護学領域(母性看護学)の実習助手については、上記の条件を満たし、看護師および助産師免許を有している者、まちづくり・公衆衛生看護学領域(公衆衛生看護学)の実習助手については、上記の条件を満たし、看護師および保健師免許を有している者とする。  実習助手は、大学における実習指導を行った経験を有することが望ましいが、指導経験がない場合は、実習指導に関する基礎的な知識、技術について学内にて下記のような研修を行う。 1) 教育目的、目標、実習の位置づけ、展開方法、学生のレディネスなどを説明する。 2) 実習助手として、学生を指導する目的、方法について 3) 学習への取り組みと動機付けについての指導者の役割 4) 実習の評価の目的と方法について  加えて担当する実習場所での実地研修を行い指導にあたることとする。なお、具体的な職務内容は、当該科目の担当教員の指導の下、グループを担当して学生の指導を行う。実習助手が行う実習指導の責任は、その指導を担う教員とする。 (28)</p>	

<p>設置時</p> <p>(27年7月)</p>	<p>・大学設置基準第10条第1項では、主要な授業科目については原則として専任の教授又は准教授に担当させることを原則としているが、本学の教育課程を見ると、看護学の体系的や学科設置の趣旨から主要と思われる授業科目に専任の教授又は准教授が配置されていない例が散見される。そのため、以下の指摘を踏まえ、担当教員の充実に努めること。</p> <p>(成田看護学部)</p> <p>(1) 「まちづくり・公衆衛生看護学」に関する5科目、「在宅・生活デザイン看護学」に関する6科目については、いずれも1名の講師・助教が担当することとなっている。設置の趣旨には、「高齢社会の到来に伴う医療やケアニーズの高まりに対応して、…地域・在宅における訪問看護、介護老人保健施設、老人福祉施設における看護師の需要が高まっている」とうたわれており、これらの科目は、人材養成の中核的な科目であると思われるが、担当教員は講師・助教であることから、設置の趣旨に即した十分な教育が行われるか懸念がある。そのため、中核的な科目については、担当教員の充実に努めること。</p> <p>(2) 精神看護学及び公衆衛生看護学を担当する教授と准教授が不在である。これらは主要な看護専門科目であることから、専任の教授又は准教授を配置すること。</p> <p>(3) 「こども・子育て看護学」の科目区分(5科目)については、准教授は配置されているものの、科目区分全体で教授が配置されていない。そのため、教授を配置しない体制で適切な教育が行えるか検討し、必要に応じて教授を配置するなど、教育体制のさらなる充実に努めることが望ましい。</p>	<p>留意事項</p>	<p>(1) について 「まちづくり・公衆衛生看護学」を担当する教授の採用を決めており、2017年4月から着任予定。また准教授、講師、助教についても2017年4月の着任を目指して教員の選定を行っている。</p> <p>(2) について 「在宅・生活デザイン看護学」を担当する教授、准教授については2017年4月からの着任を目指して教員の選定を行っている。また、「精神看護学」を担当する教授、准教授についても2017年4月の着任を目指して教員の選定を行っている。</p> <p>(3) について 「こども・子育て看護学」を担当する教授、講師については、2017年4月の着任を目指して教員の選定を行っている。 (28)</p>	
<p>設置時</p> <p>(27年7月)</p>	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。(言語聴覚学科、医学検査学科、成田看護学部)</p>	<p>留意事項</p>	<p>今回の採用では、カリキュラム等の特性上、定年年齢の教員を採用した。今後、採用する教員については、学部の継続的な発展を踏まえ、原則、完成年度において退職年齢を超えることのない50歳代以下の教員を中心に選考を行っている。(28)</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)



(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年4月に開設した、成田看護学部及び成田保健医療学部は、千葉県をはじめ南関東地域の保健・医療・福祉に関わる専門職の需要にこたえとともに、国際都市である成田の特徴を生かし、地域・国際社会でグローバルに活躍できる人材の育成を図るために、設置したものである。

本年4月入学の第1期生の募集に当たっては、募集期間が通常の募集に比べ短期間にもかかわらず、成田看護学部が入学定員100人に対し、715人の志願者(志願倍率7.15倍)が、また、成田保健医療学部が入学定員240人に対し、1,234人の志願者(志願倍率5.14倍)があり、最終的には、成田看護学部で108人、成田保健医療学部で261人の入学者を迎えることができ、優秀な人材を確保できたと考えている。

開設に当たっては、大学設置・学校法人審議会に附された留意事項等を踏まえ、可能な範囲で見直しを図ったところである。開設したばかりで、留意事項に対して十分な対応とは言えないが、引き続き改善を図っていきたいと考えている。

まだ、開設したばかりであり、今後設置計画や留意事項を着実に履行するとともに、実習体制や施設、設備等の充実を図り、保健・医療・福祉分野における、優れた人材を養成していききたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年度中に実施し、平成29年度5月に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度を予定。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

( 有 ) ・ ( 無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

( 平成28年 5月 31日 頃 )